

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・GM	写真・GT
山行番	NO. 1893		
日時	2020/11/21(土) 晴れ		
山域	愛鷹連峰・位牌岳(1458m)		
コース	山神社7:50-G尾根一位牌岳(昼食)10:50~11:30-前岳12:00 -東沢分岐13:00-G尾根(再登)14:00-山神社15:00		
標高差	上り 登山口750m ~ 位牌岳1458m=約708m 下り 同上		
快適度	4(5段階評価)=G尾根、やや藪あり		
参加者	後藤、合谷=2名		

裾野麗峰山の会で毎年(春、秋)愛鷹山のブナ観察をやっている。その一環で位牌岳、前岳に登ることになったが、参加者は2名で少し寂しかった。

越前岳には何度か登ったことがあるが、位牌岳、前岳に登るのは今回が初めてである。

8時前に須山の山神社の駐車場に到着。

既に駐車場には10台以上駐車してあったが、先週よりはだいぶ少ないようである。

登山口には登山届を提出する裾野市の新しいポストが設置してあったが、遭難者の救助に使用する目的と思われる。



山神社の登山ポスト

山神社からしばらく岩の多いゴロゴロした緩い登りを進んでいくと、東沢分岐に到着。

帰りは前岳からこの東沢分岐に下ってくるようであるが、前岳ではなく呼子岳の方に進んだ。

大沢橋を通り、しばらく進んでから大沢中ほどの堰堤に到着。

このあたりからG尾根(G尾根は仮称で正式名ではない)に入り、位牌岳に向かうため、私のスマホでルートを確認。

一般登山道から直接G尾根に取り付くのは難しそうなので、昨日の大雨で珍しく流れがある大沢を渡り、苔むしたゴロタ石の沢を詰めて進路を左にとり、G尾根に乗る。



G尾根に取り付きのゴロタ石の沢

急登のG尾根をしばらく登り、9時頃にスマホがないのに気付いた。

堰堤でルートを確認し、ズボンのポケット（チャックなし）入れたので、この急登を登って来るときにポケットから落ちたに違いない。

いつもはリュックに取り付けたチャックのついた小物入れに入れるのであるが、今となってはどうしようもない。

一般道で落したのであれば、拾ってくれる人もいるかもしれないが、人が通らないバリエーションルートでは自分で探すしかない。

しかし、スマホはヤママップのナビ機能使用時の消費電力を抑えるために機内モードにしており、着信音でスマホの落とし場所を確認することは出来ない。

目視だけで探し出すことができるのか不安でいっぱいである。

ここから私だけ下って、探そうとも考えたが、一人で下るのは危険もあり、もしスマホが見つかなければGTさんと連絡が取れなくなってしまう。

GTさんから予定通り歩き、ブナ観察をして、下山後に再度スマホでルートを確認した大沢の堰堤からG尾根を登り、探した方がいいということで、そうすることにした。

しかし、スマホを落としてしまったというショックで心中穏やかではなかった。

そこから、しばらく足場の悪いG尾根登り、一般道に合流し、ほどなく位牌岳に到着。

曇りでやや寒かったが、山頂で昼食を取ることにした。

いつものようにビールを飲みながら昼食を取ったが、スマホショックのせいかな楽しい昼食ではなかった。

頂上の観測木・愛称=かがみは、豊作だった。

下から仰ぐと、枝先に独特の「殻斗（かくと）」が沢山見られた。



位牌岳山頂

昼食後、寒いのですぐに下山。途中から段々晴れて来た。

位牌岳から前岳に向かう途中、観察木＝10は分かったが、9－1が分からなかった。

10は看板があるから分かるが、9・9－1は、看板がなかった。

人為的に外されたかも？

前岳の愛称＝ちよ、の殻斗は見られなかった。落ちてもしなかった。

やや、樹木の元気がないので心配だ。



木ねじで止めた赤布

前岳北尾根を下る。しかし、驚いた。全コースにフィックス・ロープが張られていた。

北尾根は、確かに急でロープがあれば安心だ。しかし、全コースに設置は経費・労力・時間が、相当掛かったであろう。(I山の会・Kさんに聞いたら、須山の振興会ではないかの話だった)

無事下山し、再び大沢の堰堤からG尾根を上る。

最初の急な沢が怪しいとおもったがなかった。尾根も丹念に見たがなかった。

ある程度、重くツルツルしているので、枯葉の中に潜ってしまったかも……。いずれにしても、雲を掴むような感じだった。

実は2週間前にも小豆島お遍路時、高松港で財布を落としており(この時はいい人に拾ってもらい戻ってきた)、自分の不注意さにほとんど呆れ果ててしまった。(財布は、高松警察署から着払いで送って貰

った)今回は落とした場所が場所だけにスマホを拾ってくれる人はいないだろうが、悪用されることもないであろう。



前岳北尾根のロープ

その他の記述（後藤）

1. G尾根に久しぶりに上った。故に、手入れがなく藪が多かった。
2. 中ほどの岩場は、以前、ロープを設置しなかった。右を巻いたら悪かった。再設置する。
3. G尾根は、位牌岳最短ルートで利用価値はある。
4. Kさんは、スマホに紐を付けている。また、ズボンはチャック付きが良い。
5. 前岳東尾根のフィックスは驚いた。
6. ルート中、樹木に「木ねじで止めた赤布（実際はナイロン）」が散見されたが、「木ねじ」は、ちょっとマズい。
7. 最近、ブナ観察木の看板が数か所無くなったが、しっかり止めたものなので、風などで簡単に外れる訳はない。人為的なものか。問題があれば、口頭で伝えてもらいたい。なお、看板は2000年からついているので、近々、新しいものに変更したい。（渡辺看板に依頼）止めてある電線は、いずれ「バネ状のもの」に変更したい。



木ねじで止めた赤布